



お尻の悩み

生命に関わる病気も



社会医療法人 衛生会 名譽理事長
土庫病院 大腸肛門病センター 顧問医
稲次 直樹

お尻は便を体外に排泄する場所で、直腸や肛門管、肛門の外側の皮膚部からなる消化管の出口です。出口に異常が発生すると、排便時に痛みや出血、しこりなどが生じます。

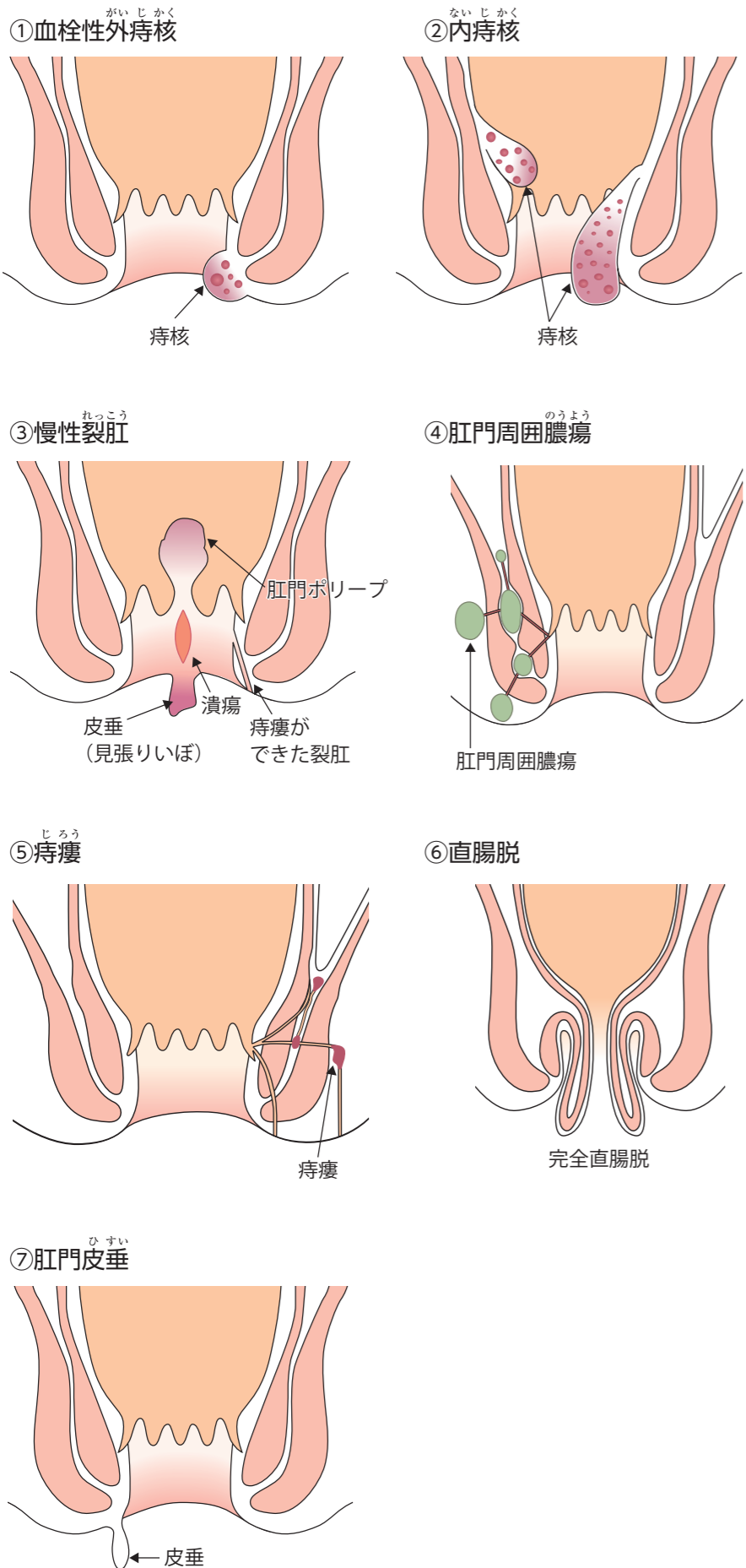
この場合、多くの方は「痔がある」「痔がひどくなった」などと訴えて受診されます。診察すると、いぼ痔（外痔核・内痔核）やきれ痔（裂肛）、あな痔（痔瘻）など、いわゆる痔の方が多いは確かです。しかし、お尻の病気には痔以外にもさまざまな病気があります。肛門部のがんや腸炎に合併する肛門の病気、肛門周囲の皮膚の病気や性病など、極めて多彩な病気が発生します。

したがって症状だけで痔とは診断できず、なかには生命に関わる病気もあります。お尻に異常を感じたら、すぐに受診してください。また訪問看護を受けておられる方は、看護師

します。高齢の女性に多く、時に赤ちゃんや中年での発症もあります。直腸を骨盤内にとどめておくための筋肉が弱くなったり、慢性的な便秘でお腹に力を入れたりすることで起こります。

便秘が原因の場合は、食物繊維を多く含んだ食事や下剤で排便をコントロールします。改善しない場合は手術を検討します。

図 痔とそれに似た病気



さんに「お尻がちょっとおかしい」と伝えてください。お尻の病気も早期診断・早期治療が何より大切です。

◆痔とそれに似た病気

ひとことで痔と言っても、実にさまざまな症状があります。図に痔とそれに似た病気を示しました。

① **血栓性外痔核** 突然、痛みを伴うしこりが肛門にできます。多くは薬物療法で治癒しますが、痛みが強かったり出血が続く場合は、手術が必要になることもあります。

② **内痔核** 痔核が外へ脱出するものと脱出しないものがあります。排便時に出血を伴うことが多く、早期診断・早期治療が有効です。薬物療法で出血や脱出が治らない場合は手術が必要です。手術には切除手術のほか、注射

⑦ **肛門皮垂** 肛門の縁に生じた皮膚の突出（たるみ）で、放置しておいて構いません。ただし周囲に皮膚炎を起こし、かゆみや痛みが生じる場合は、医師にご相談ください。

◆さまざまな病気

肛門の近くに見えるお尻の病気としては、このほかにも炎症性腸疾患に合併して生じる

剤を使って痔核を小さくする硬化療法などもあります。

③ **慢性裂肛** はじめは少しの出血や痛みを伴う肛門裂傷として発生しますが、慢性化すると肥大乳頭、肛門ポリープ、慢性潰瘍、時には痔瘻になることもあります。肛門が狭くなり排便が困難になった場合は、手術が必要です。

④ **肛門周囲膿瘍** 肛門腺の細菌感染が原因で、突然の痛みや腫れ、時に発熱を伴うことがあります。多くの場合、メスで切開し、膿処置をします。切開・排膿後に再発したり、痔瘻になることもあるため注意が必要です。

⑤ **痔瘻** ④の膿瘍ができたあとに自壊（ひとりでに破れる）したり、膿瘍切開後に生じる場合が多く、完治のためには手術が必要です。

⑥ **直腸脱** 直腸の一部または全体が外へ脱出

病気や、皮膚部に生じる病気などがあります。簡単に説明します。

● **お尻にできるがん**
直腸がんや肛門がん、痔瘻がん、ポリープやパジェット病などがあります。

がんができる部位によって、腺がんと扁平上皮がんに大別されます。直腸がんは主に腺がん、肛門がんは主に扁平上皮がんです。